

プレス発表資料(お知らせ)

平成23年10月13日
独立行政法人 防災科学技術研究所

火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2011 —リアルタイム火山災害評価と行政対応— Workshop on Strategy of Volcanic Disaster Mitigation 2011 —Real time volcanic disaster assessment and management—

独立行政法人 防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、山梨県環境科学研究所と共催で「火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2011—リアルタイム火山災害評価と行政対応—」を下記の通り開催いたします。

1. 日 時 平成23年11月2日（水） 10:00～16:30
平成23年11月4日（金） 9:30～15:00
2. 開催場所 山梨県環境科学研究所 多目的ホール（11月2日）
（〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1）
防災科学技術研究所 研究交流棟 和達記念ホール（11月4日）
（〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1）
3. 主催 山梨県環境科学研究所、（独）防災科学技術研究所
4. 後援 日本火山学会
5. プログラム 別紙のとおり
6. 定員 両日各150名（申込順）
7. 参加申込 ご氏名・ご所属・参加希望日（2日・4日）を明記の上、下記問い合わせ先にメール（fujita@bosai.go.jp）、もしくはお電話（029-863-7537）、FAX（029-851-5658）にてお申込ください。
8. 参加費 無料
9. その他 同時通訳あり

* 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

（内容に関するお問い合わせ）

独立行政法人防災科学技術研究所
観測・予測研究領域
地震・火山防災研究ユニット
藤田、小園
電 話：029-863-7537
FAX：029-851-5658

（連絡先）

独立行政法人防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
佐竹、松宮
電 話：029-863-7783
FAX：029-851-1622

火山災害の軽減に関する国際ワークショップ 2011
平成 23 年 11 月 2 日（水）～11 月 4 日（金）
プログラム（暫定版）

11/2（水） 10：00～ ワークショップ第 1 日目 山梨県環境科学研究所

10:00 開会の辞 山梨県環境科学研究所所長 荒牧重雄

10:10 概要説明 山梨県環境科学研究所 内山高

第 1 部： 大規模火山災害のクライシスマネージメント

10:20 Scientific and emergency-management response to volcanic risk: Lessons from Montserrat and selected other volcanoes

Barry Voight（ペンシルベニア州立大学）

11:05 Scientific and emergency-management response to volcanic risk: the Vesuvius example

Augusto Neri（イタリア国立地球物理学火山学研究所）

(11:50 - 13:00 昼食)

13:00 *日本の火山噴火時のクライシスマネージメントについて
（内閣府）

13:20 *火山噴火時の気象庁の対応について
山里平（気象庁火山課長）

13:40 *平成 23 年霧島山新燃岳噴火における高原町の対応について
日高光浩（宮崎県高原町長）

14:00 新燃岳噴火への対応（霧島市）
宇都克枝（鹿児島県霧島市危機管理監）

14:20 *平成 23 年霧島山新燃岳噴火および日本の火山におけるクライシスマネージメントについて
藤井敏嗣（環境防災総合政策研究機構・東大名誉教授）

(14:45 - 15:05 休憩)

15:05 総合討論（座長：荒牧重雄）

16:30 閉会の辞 山梨県環境科学研究所

11/4 (金) 9:30～ ワークショップ第2日目 防災科学技術研究所

09:30 開会の辞 防災科学技術研究所理事長 岡田義光

第2部： 大規模火山災害の技術的評価について

09:45 Modeling pyroclastic flow and surge hazards: assumptions, capabilities, limitations and integration with civil defense strategies

Barry Voight (ペンシルベニア州立大学)

10:30 Assessing volcanic hazards of explosive eruptions by using numerical models: present capabilities and limitations

Augusto Neri (イタリア国立地球物理学火山学研究所)

11:15 Quantifying volcanic risk in Japan: a framework for probabilistic hazard and loss modelling

Christina Magill (オーストラリア マッコーリー大学)

(12:00 - 13:00 昼食)

13:00 大規模溶岩流シミュレーションの技術開発について

藤田英輔 (防災科学技術研究所)

13:20 火山噴煙シミュレーションの現状と課題

鈴木雄治郎 (東京大学地震研究所)

13:40 火砕流災害評価のための次世代型リアルタイム火山災害予測システム: GEO Grid 火山重力流シミュレーションとVHub プロジェクト

宝田晋治 (産業技術総合研究所)

14:00 噴火シミュレーションの火山災害軽減への活用

井田喜明 (アドバンスソフト株式会社 東大名誉教授)

(14:20 - 14:30 休憩)

14:30 総合討論 (座長: 藤田英輔)

15:00 閉会の辞 防災科学技術研究所 棚田俊收